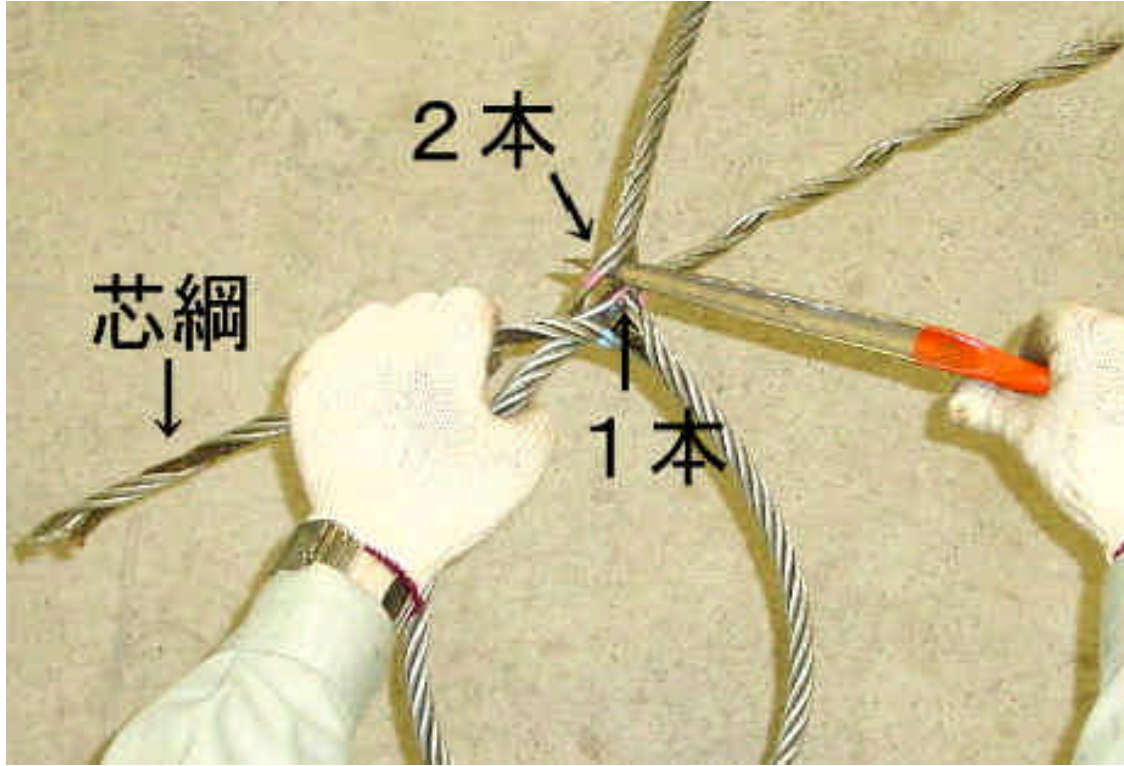


#### IV 割差し(かご差し、サツマ差しとも言う)

きれいに仕上げるのは少し難しい方法ですが、アイスプライスとしては、最も丈夫で抜けにくい技法とされています。各ストランドを「1越し2差し」の要領で細工していきますが、仕上がりが籠編みのようになることから、「かご差し」とも呼ばれています。シノを頻りに差し替えるうえ、次第に堅くなっていくので、力を入れ過ぎてシノの先端だけがをしないように注意しましょう。

##### 1 差し始め



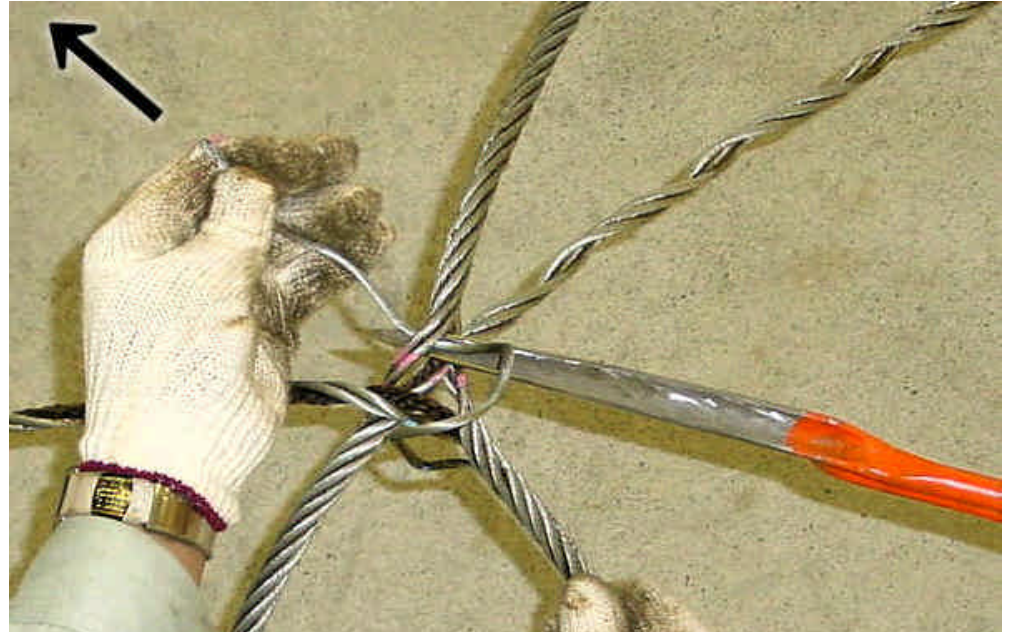
フレミッシュ加工をしたアイ（輪）を手前にし、左側に芯綱のある方を向ける。  
左手でアイとストランドをまとめて図のように持つ。  
右手でシノ（溝付き）を持ち、図のように差し込む。  
1本を越えて次の2本をまとめてすくうのがポイント。  
これを「1越し2差し」という。

##### 2 最初のストランド



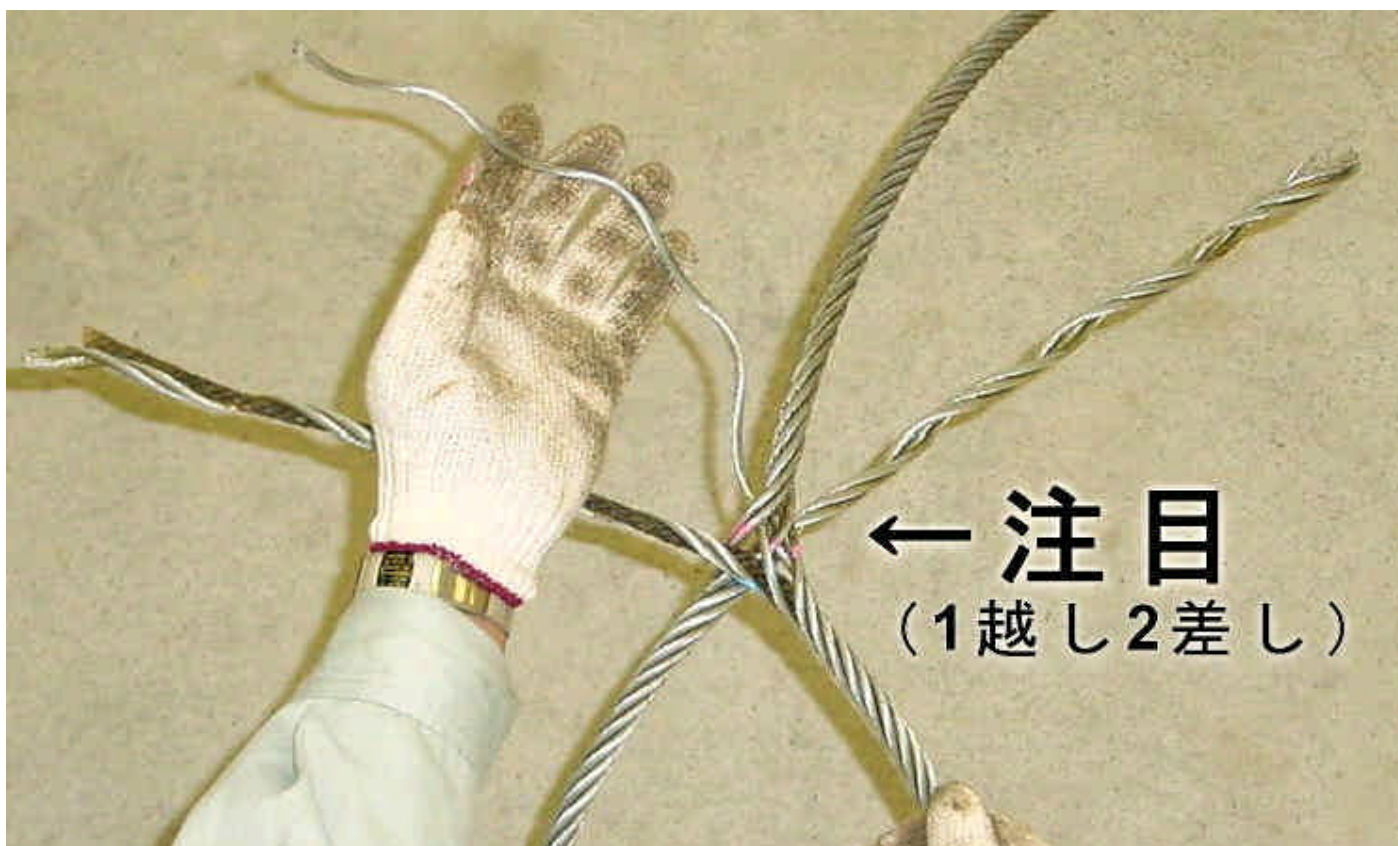
左側の束から最初（右端）のストランドを根本までほどく。

##### 3 差し込み



シノの溝に沿って右から左上に向かって通す。  
ストランドのよりがほぐれないように注意。

##### 4 引き抜き



根本に注目して細工を確認。

ストランドを差す過程で、よりがほぐれてくるので、よりをいれると良い。

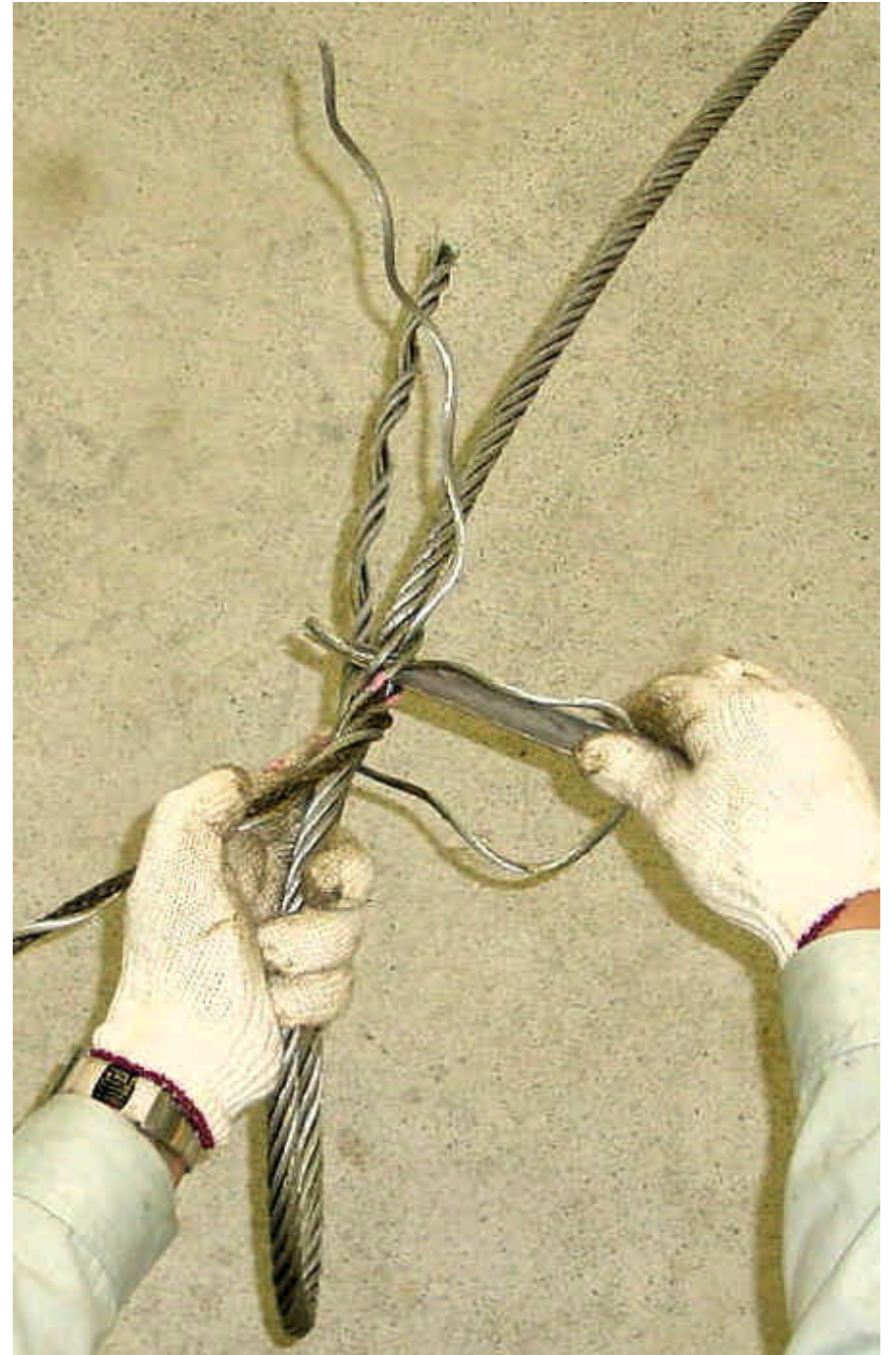
差したストランドが下方になるほど、後が差しにくくなるので、少し上にずらすようにするのがポイント。

5 2本目の差し位置



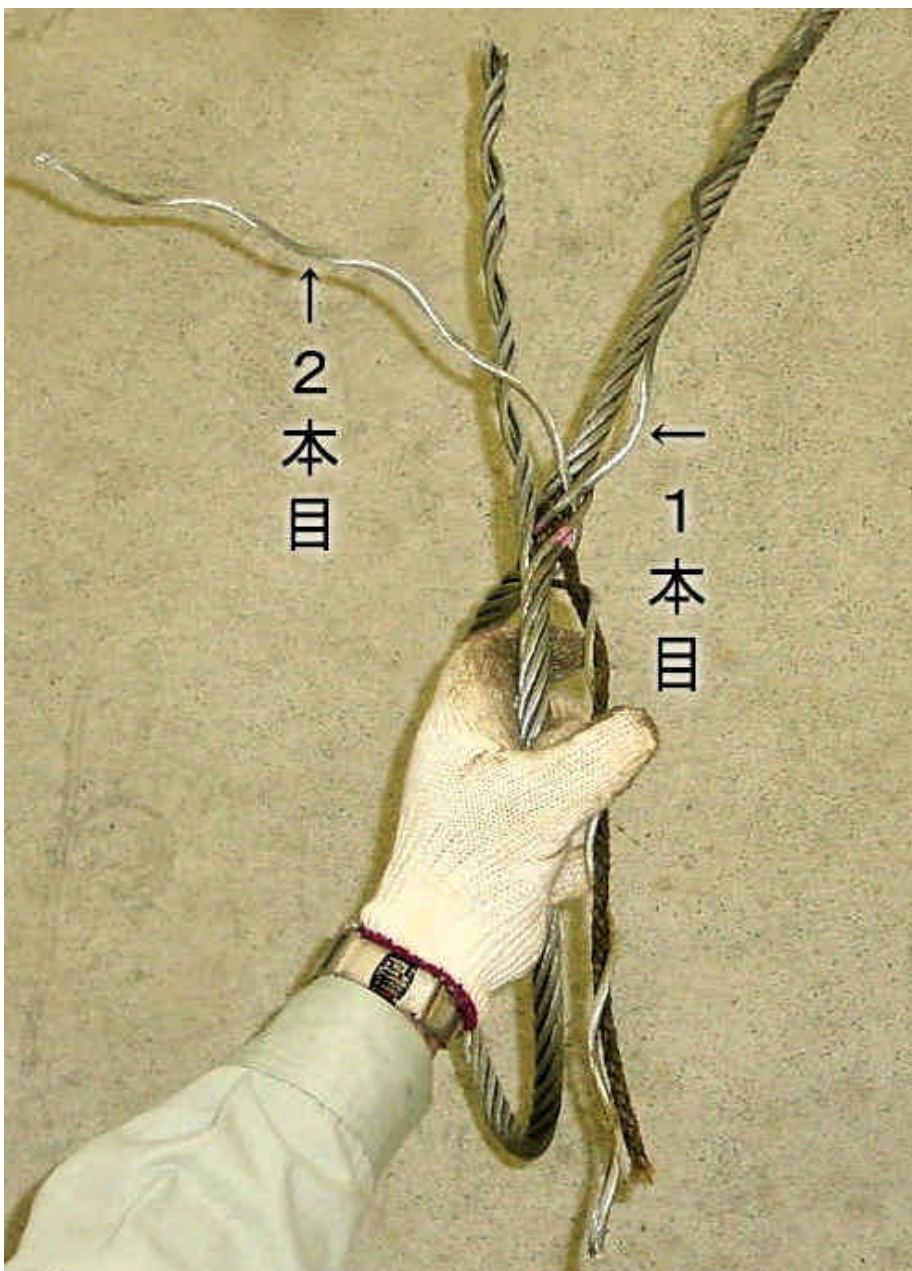
1本目の下側を図のように2本すくう。

6 差し込み



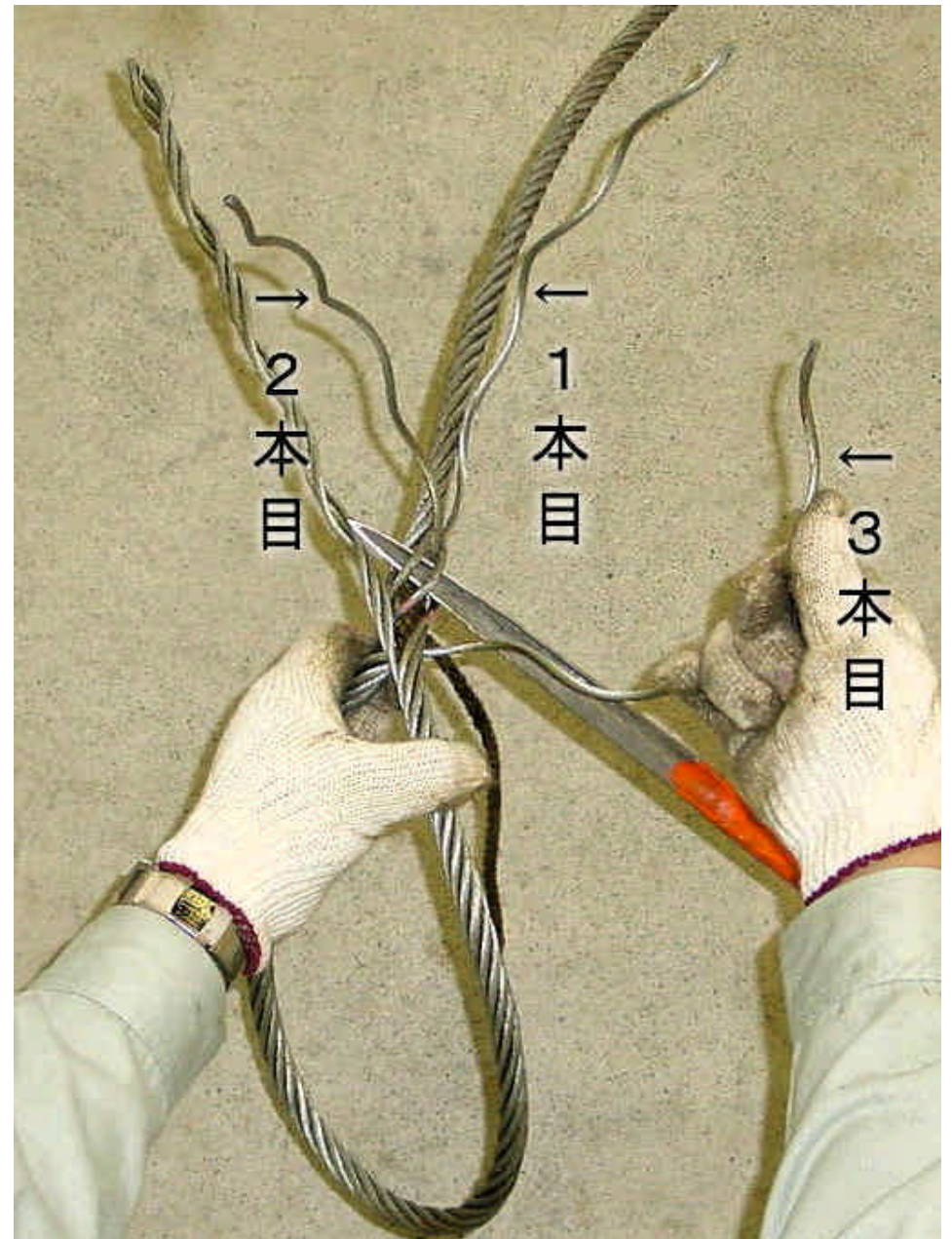
次のストランドを溝に通す。

7 2本目完了



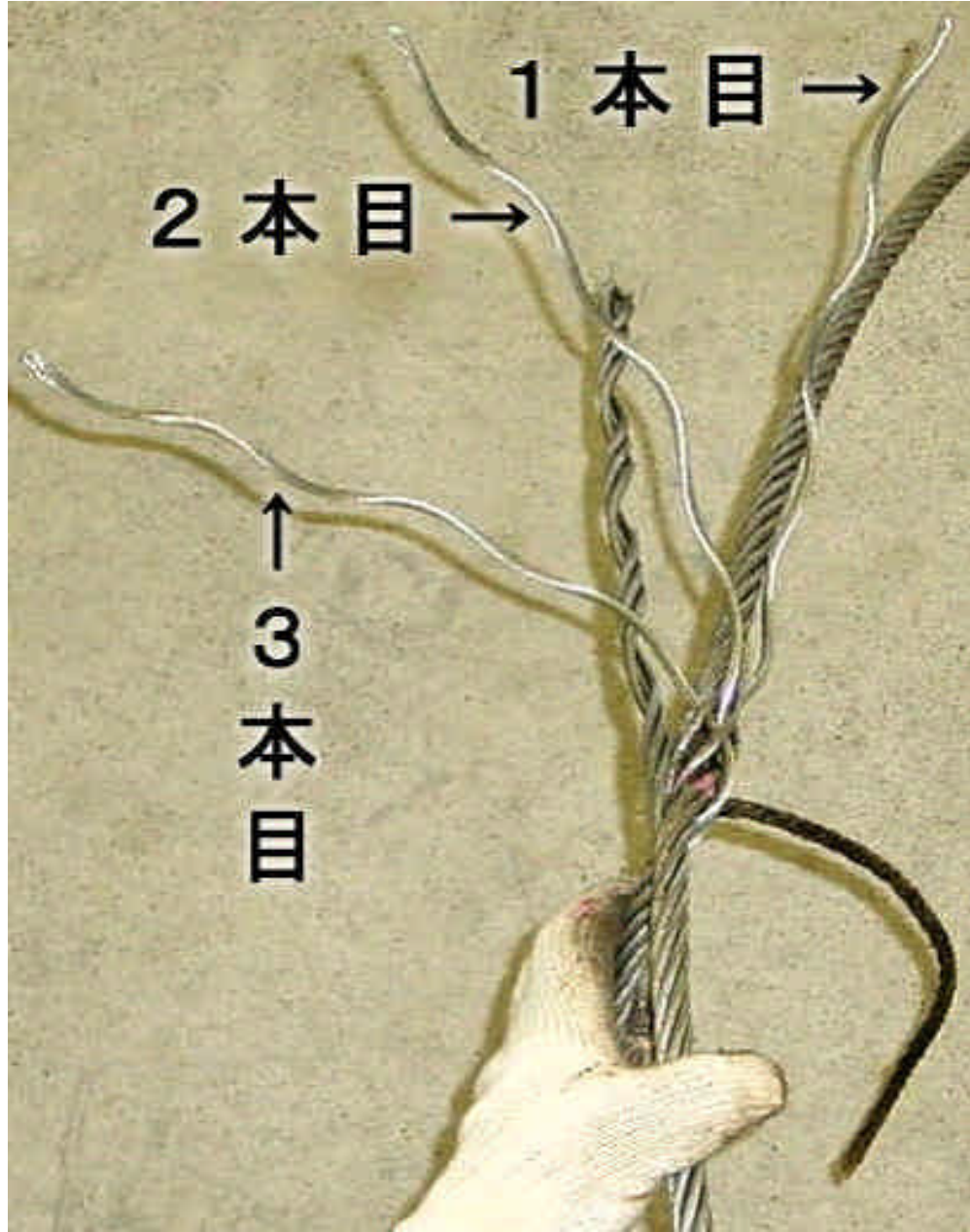
細工の具合を確認する。

8 3本目の差し位置



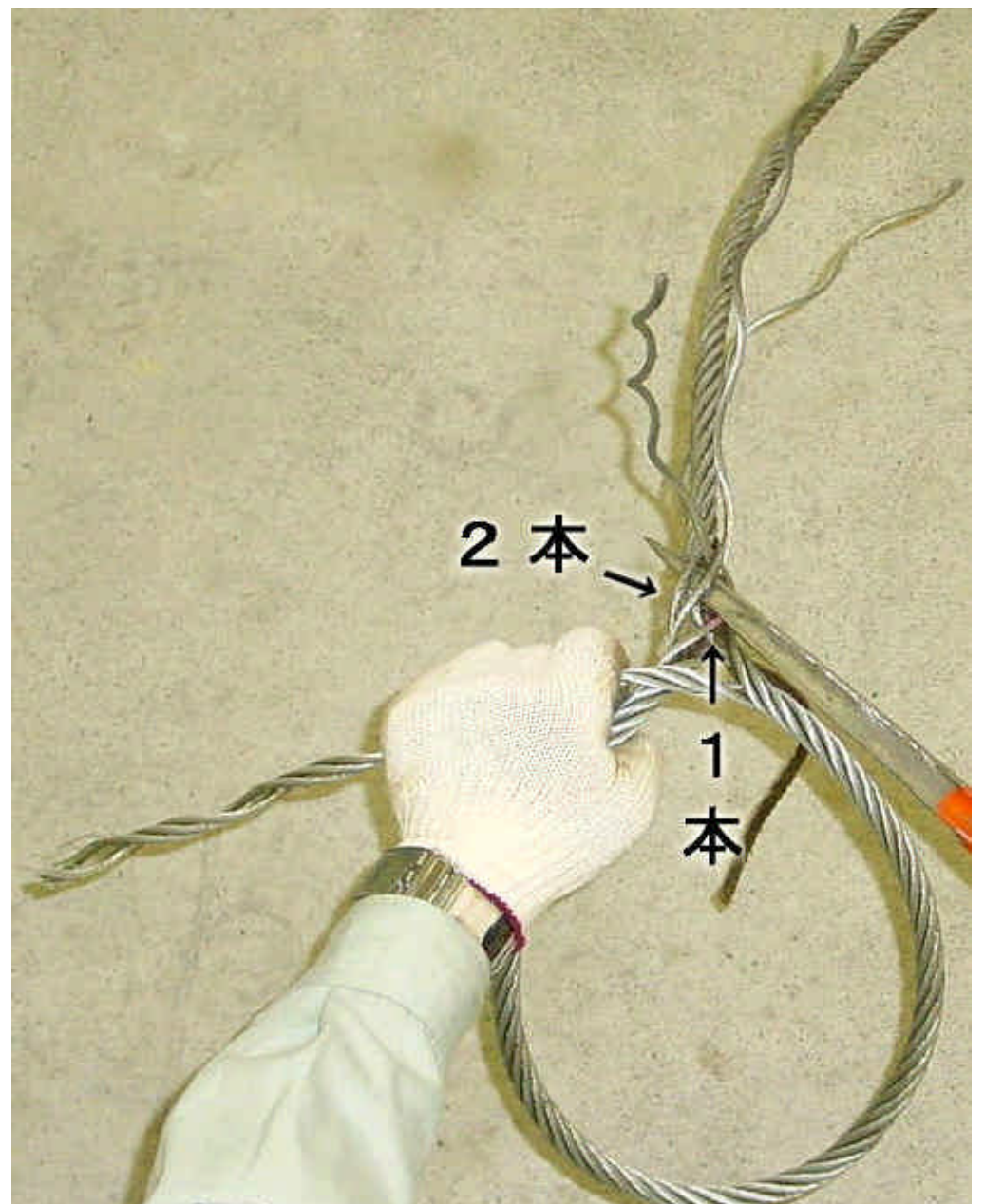
3本目も同様に図のように差す。

9 3本目完了



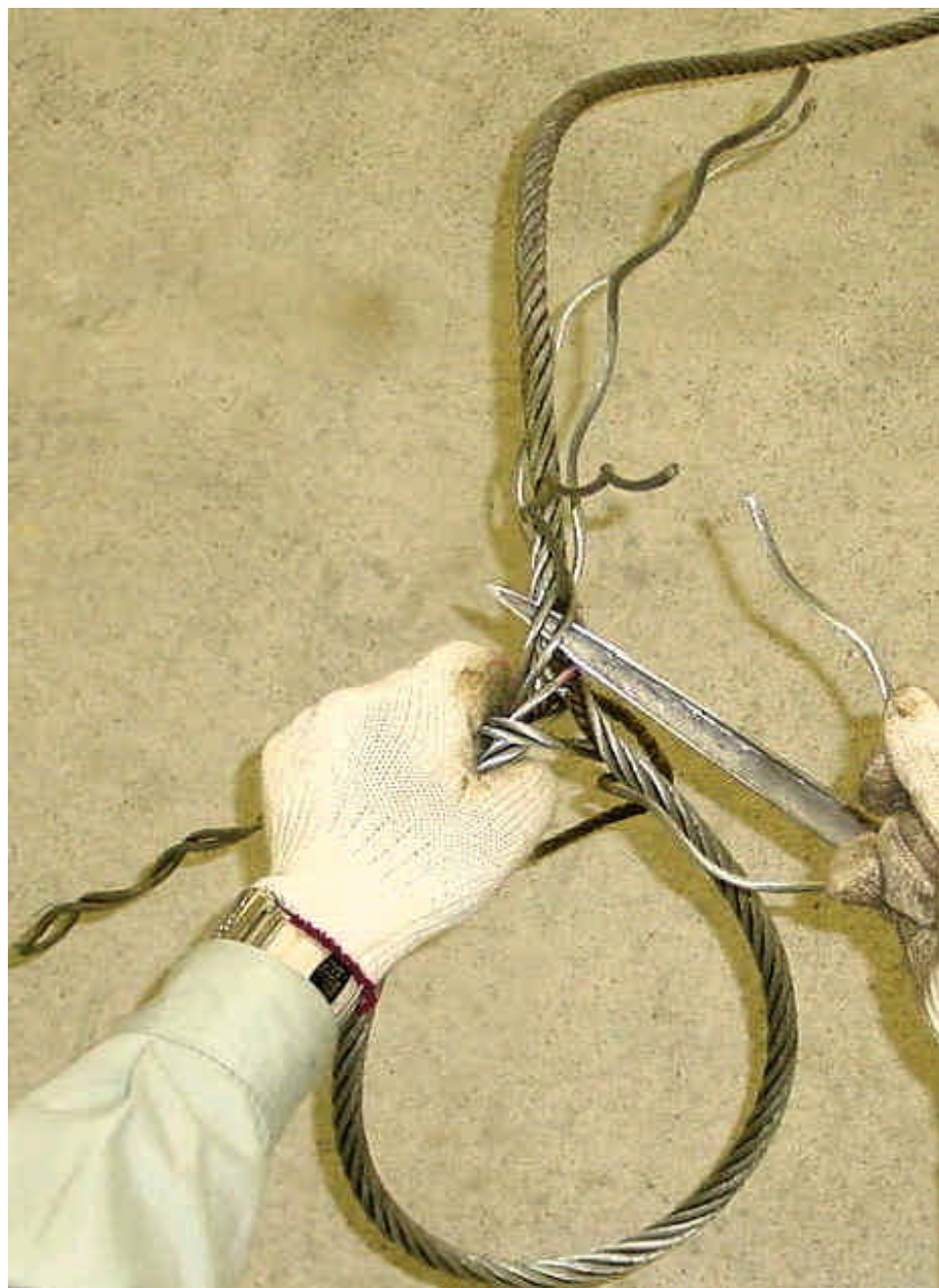
細工の状態を確認。後が手前になっているのに注目。

10 4本目の差し位置



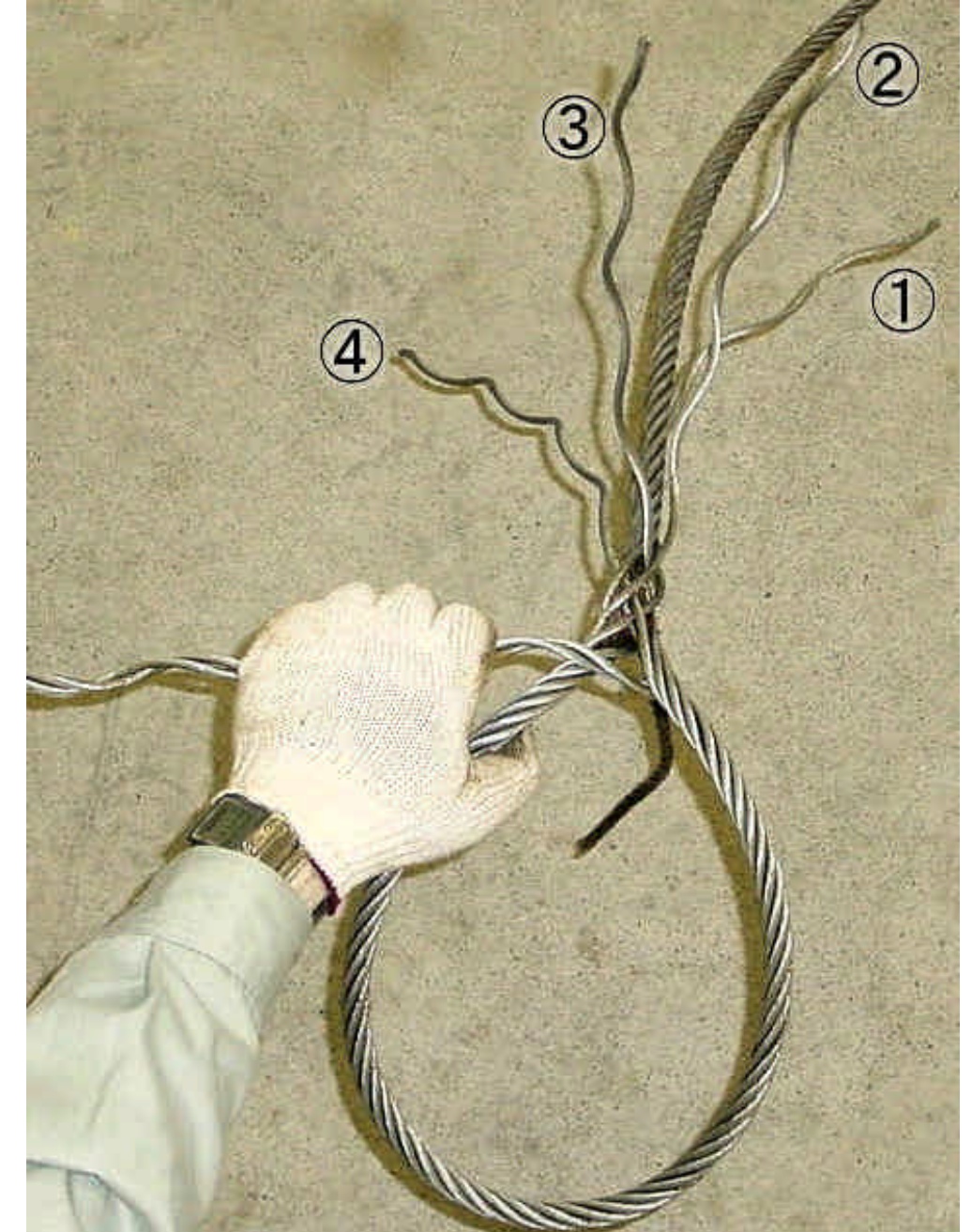
アイを裏返して、図のようにシノを差す。(1本目と同様)

11 差し込み



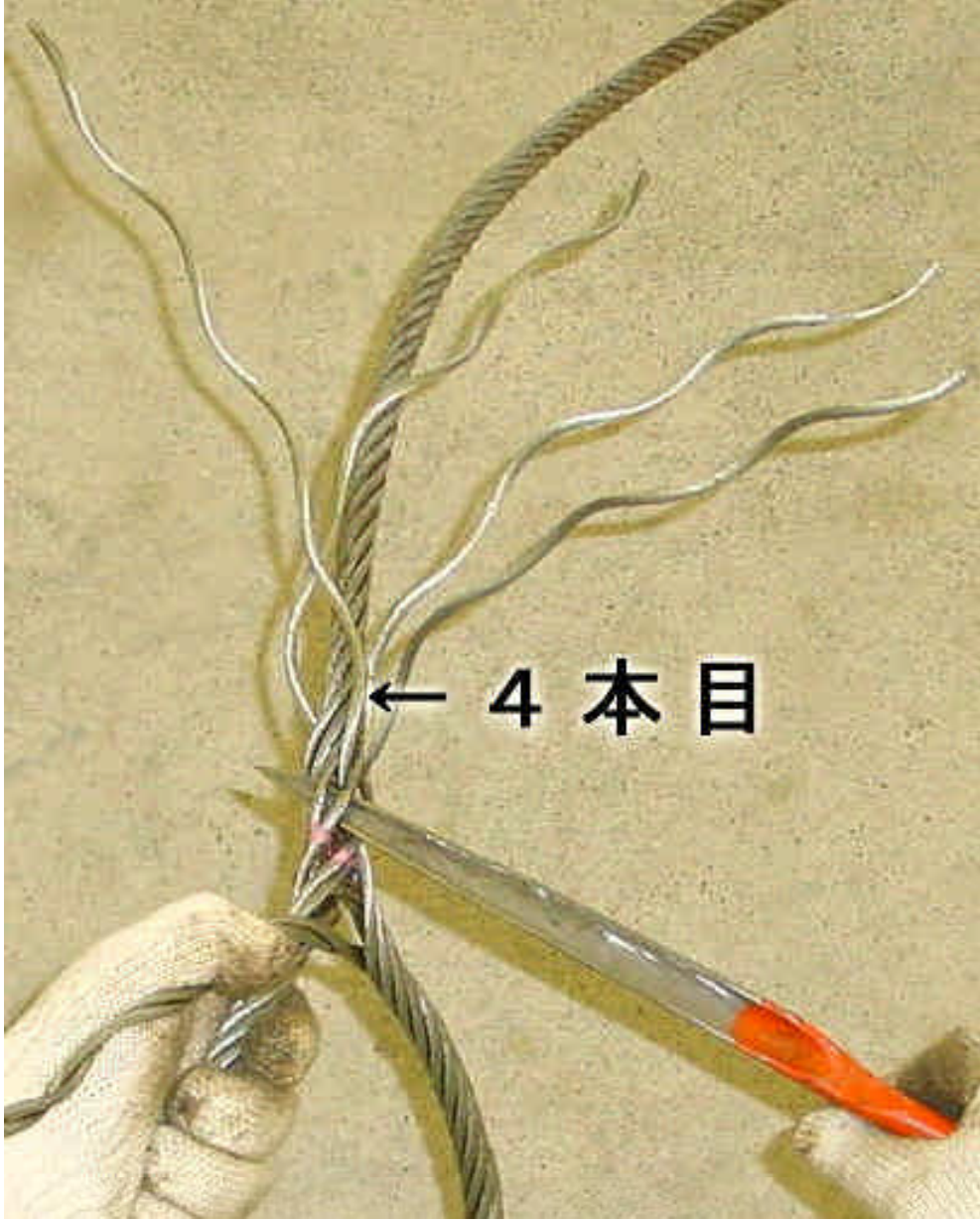
左側の束から内側（右側）のストランドを1本はずし、シノの溝に通す。

12 4本目完了



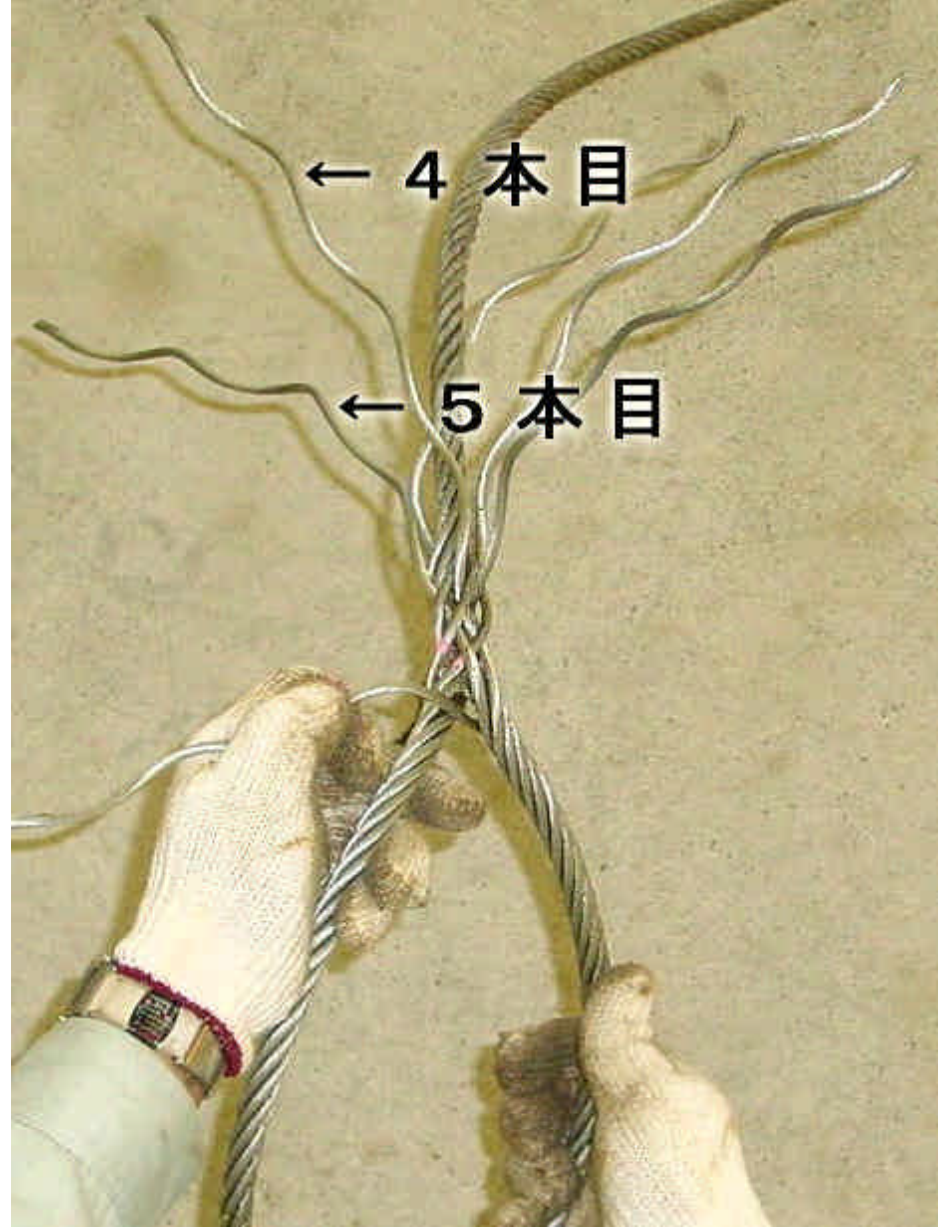
細工の状態を確認。3本目の手前（下側）になっていることに注目。ストランドがほぐれやすいので、必要に応じてよりを入れる。

13 5本目の位置



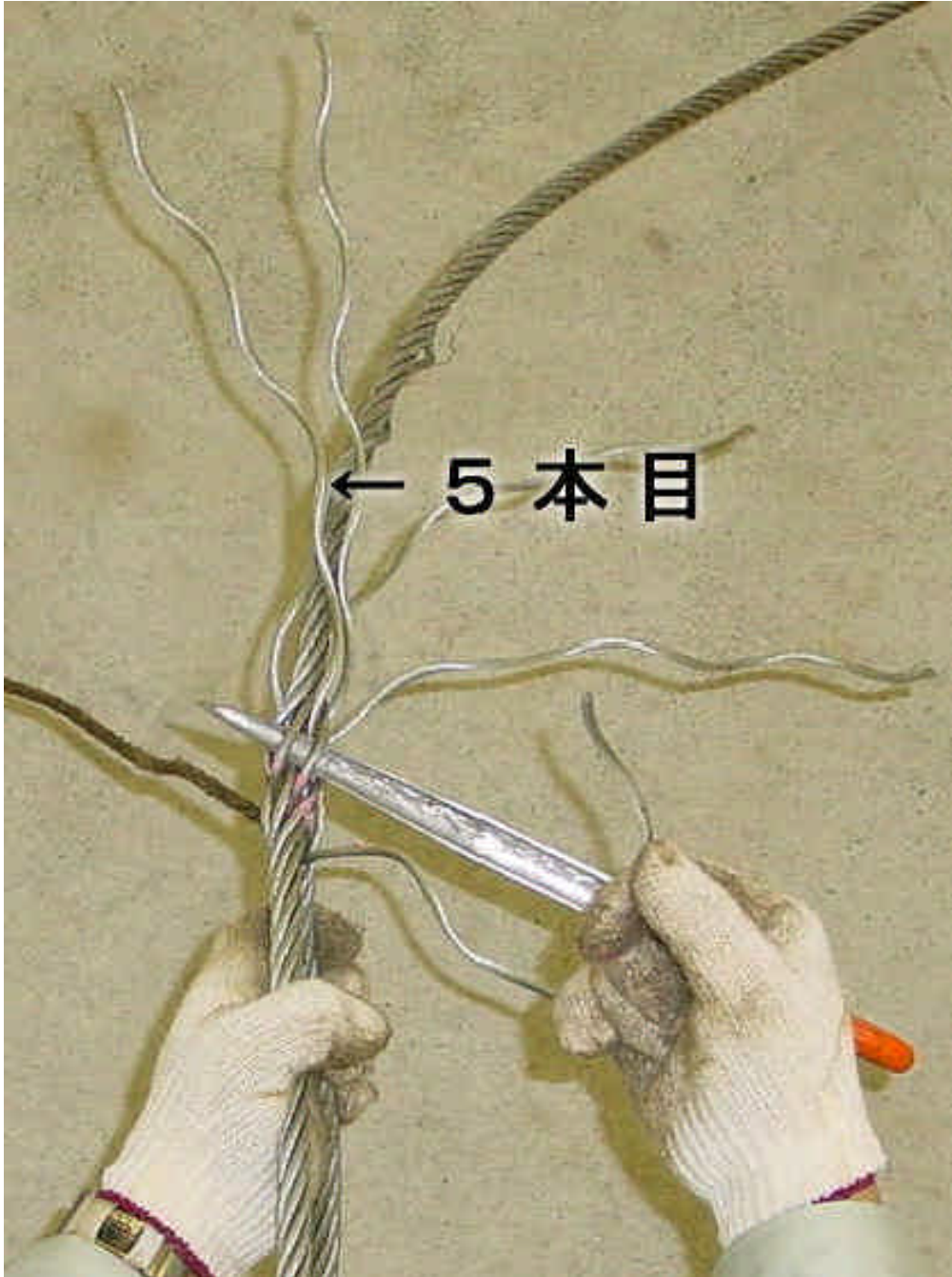
4本目を挟んでいる2本を図のように同時にすくう。

14 5本目完了



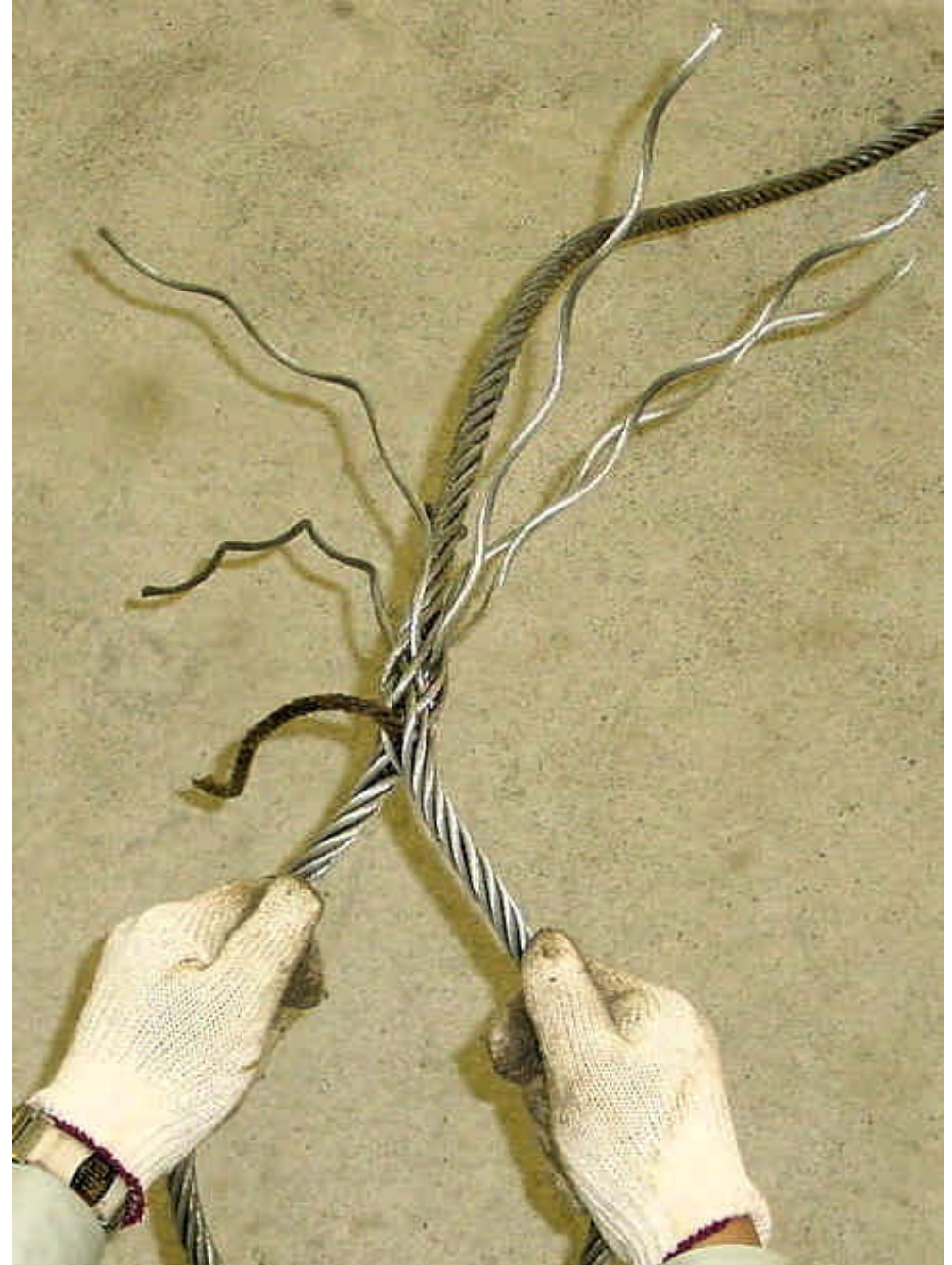
細工を確認。差したストランドによりを入れる。

15 6本目の位置



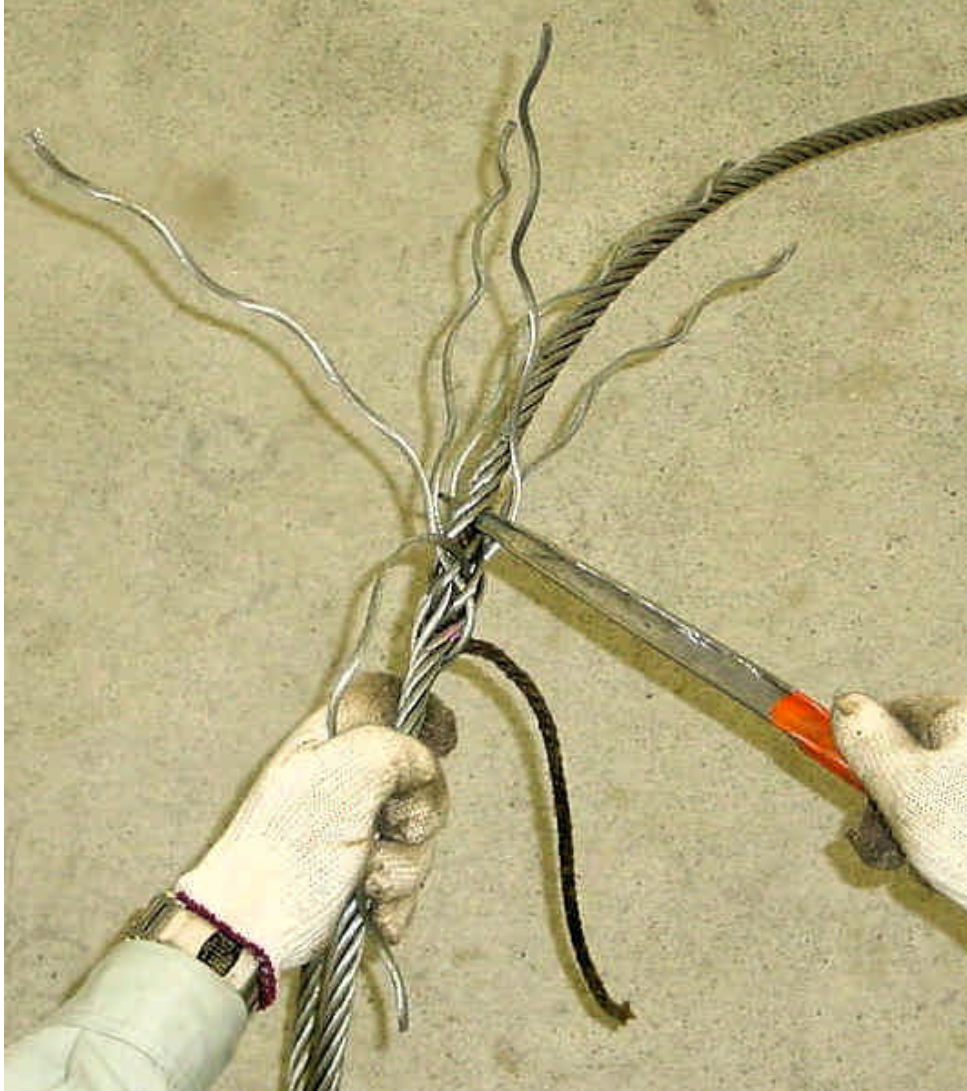
5本目を挟んでいるストランド2本を図のように同時にすくい、シノの溝に6本目を通す。

16 6本目完了



細工を確認。よりが緩んだストランドがないか調べ、あればよりを入れる。芯綱は切断してもよい。

17 2回目の最初



2回目はどのストランドから始めてもよいが、図では左手親指で押さえているのが、次に差すストランド。

18 1本目引き抜き



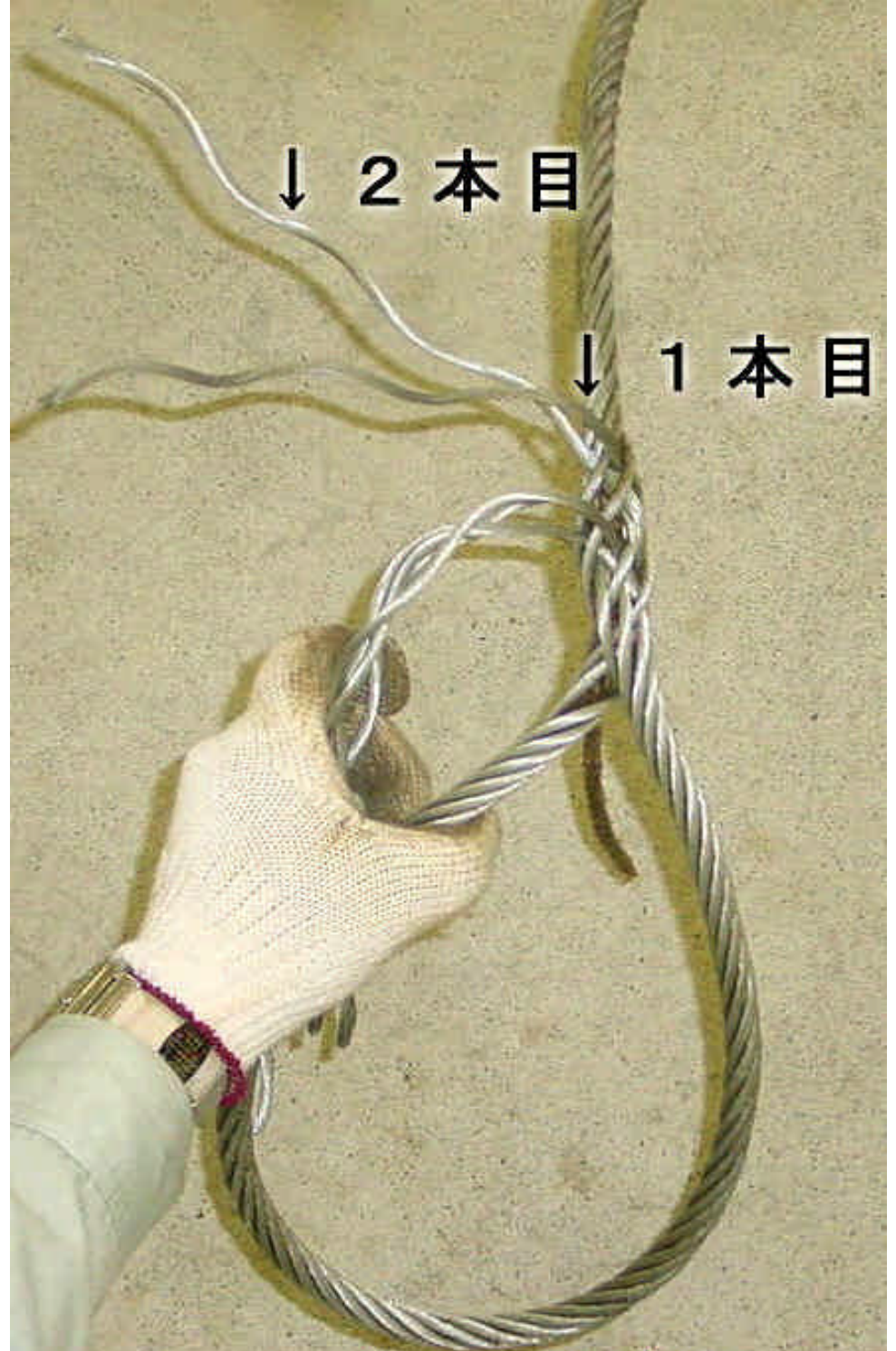
1本目を左上に向かって引き抜き、よりをいれる。手前（下方）に引くと次が差し難いので注意。

19 2回目の2本目の位置



1本目の手前（下）の位置に図のようにシノを差し、次（左隣）のストランドを差す。

20 2本目終了



差した位置とストランドの状態を確認し、必要に応じて修正。

21 2回目の3本目の位置



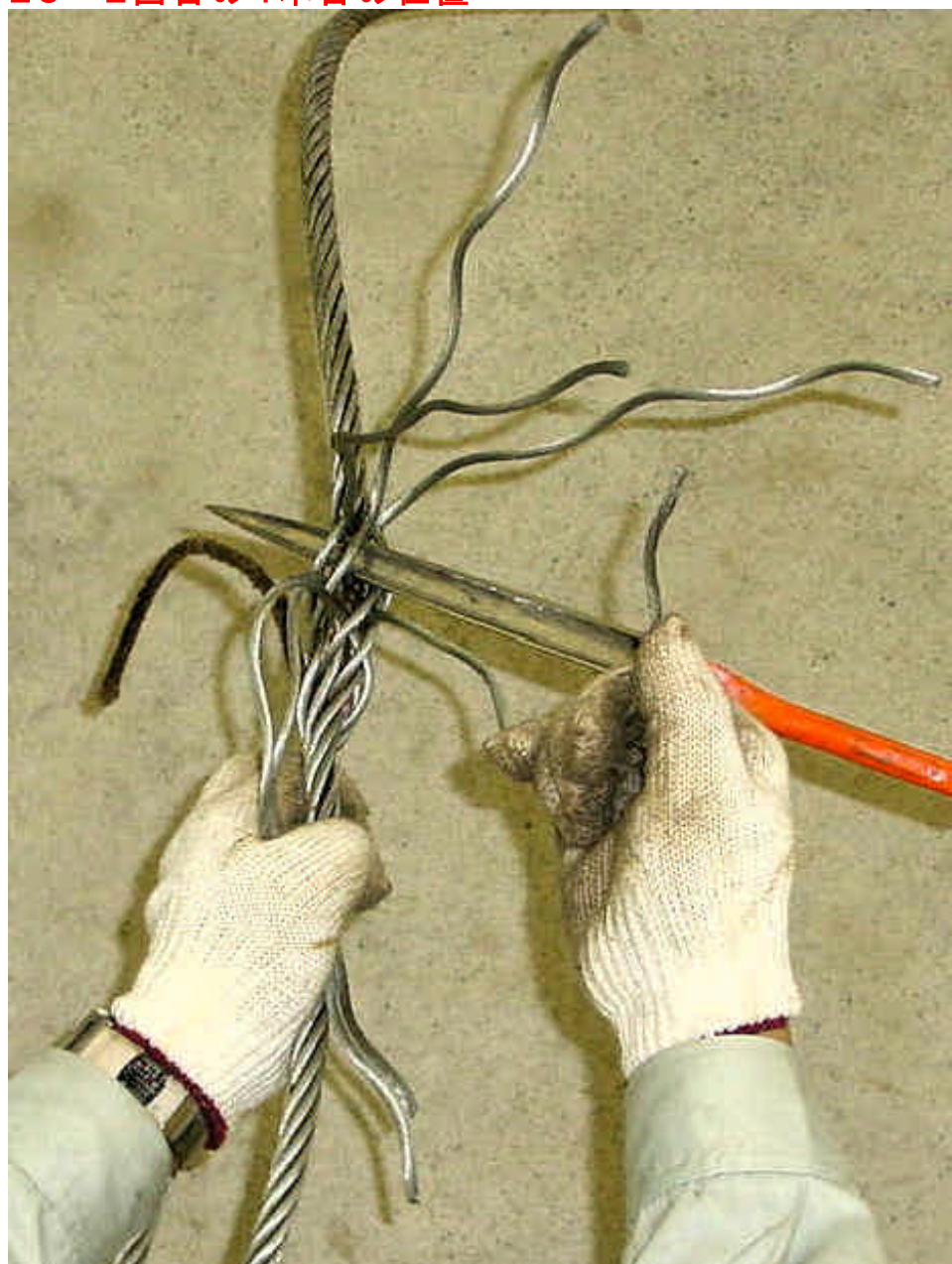
2本目の手前（下）の位置に図のようにシノを差し、次（左隣）のストランドを差す。

22 3本目終了



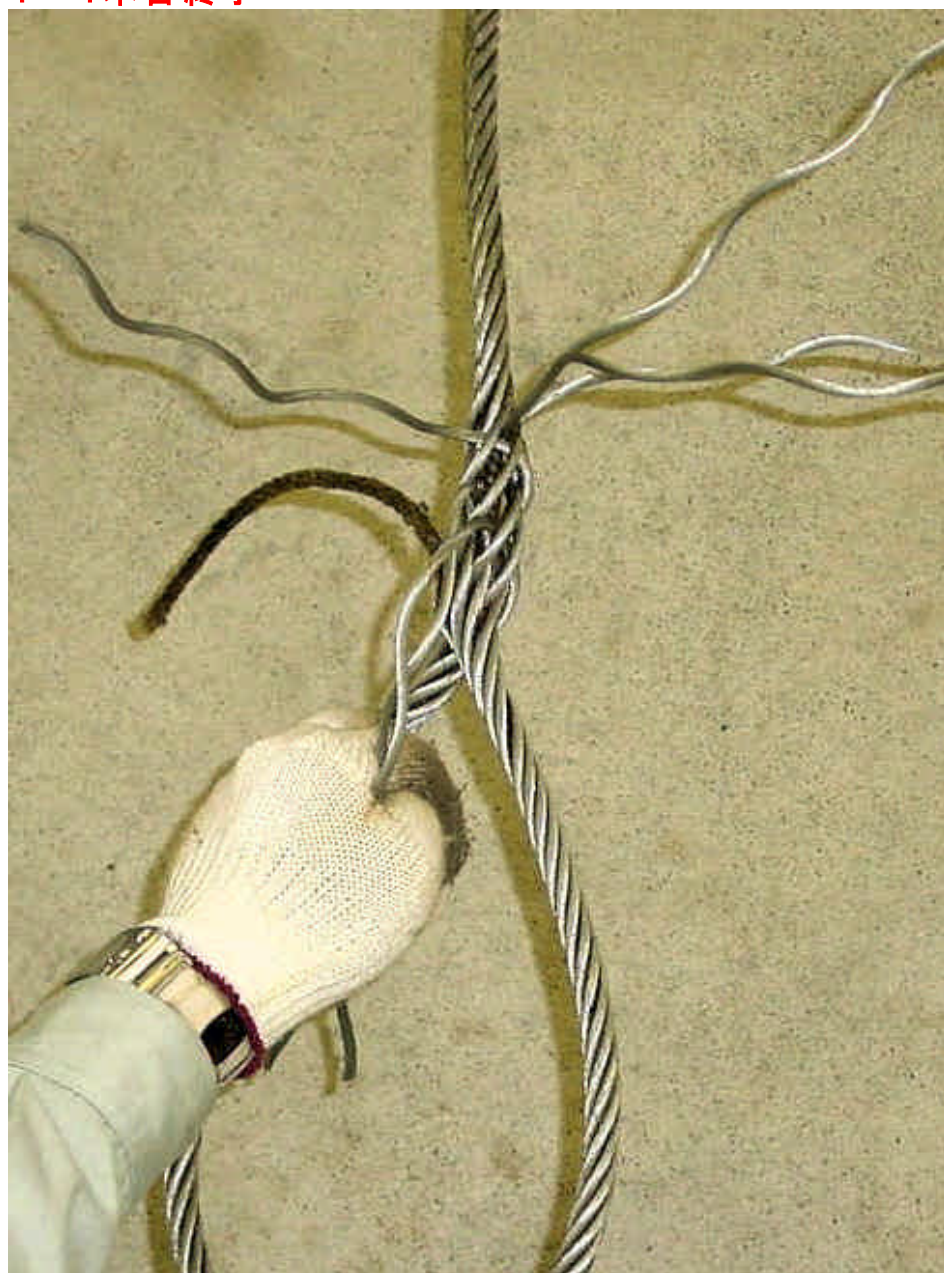
差した位置とストランドの状態を確認し、必要に応じてよりを入れる。

23 2回目の4本目の位置



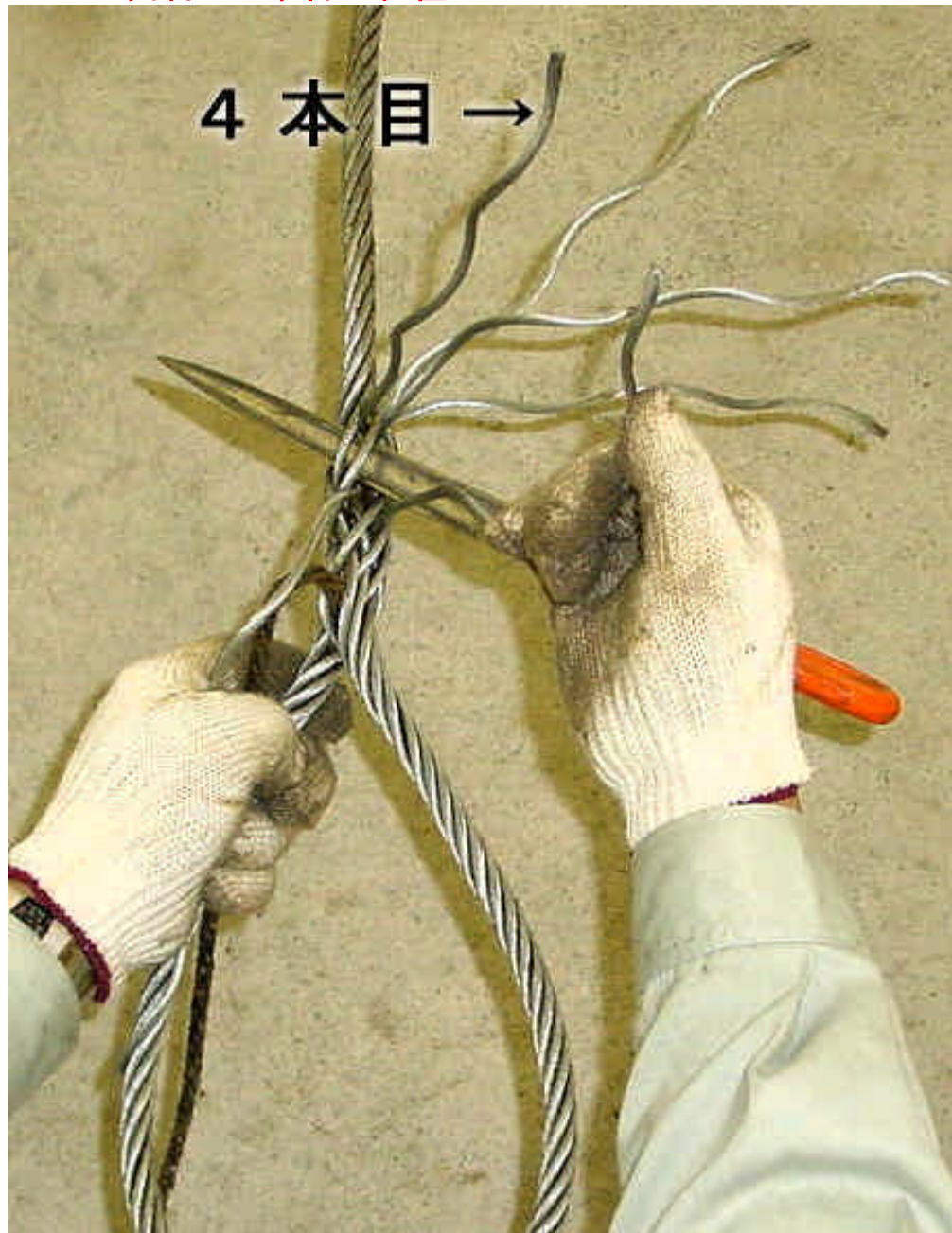
3本目の手前（下）の位置に図のようにシノを差し、次（左隣）のストランドを差す。

24 4本目終了



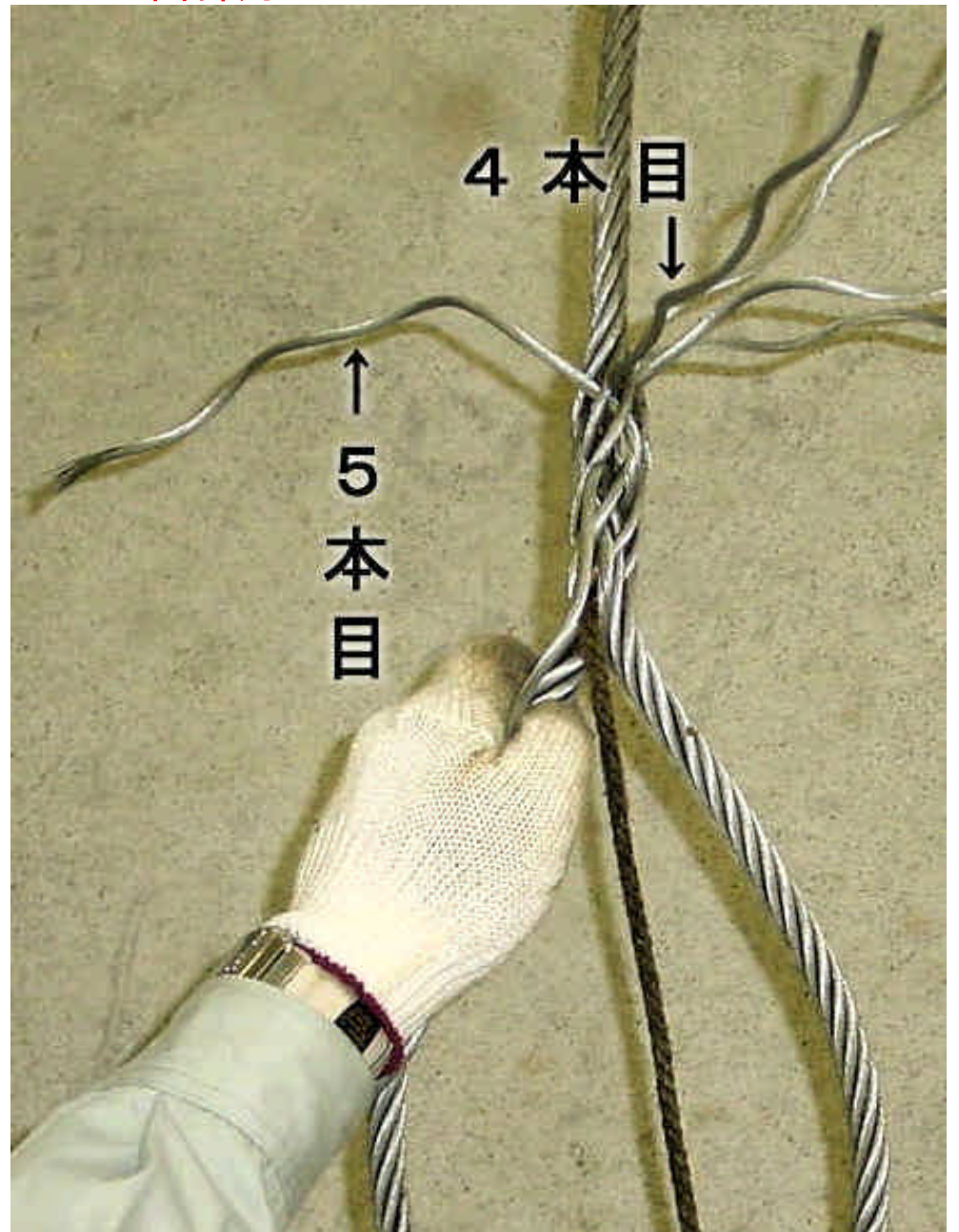
差した位置とストランドの状態を確認し、必要に応じてよりを入れる。

25 2回目の5本目の位置



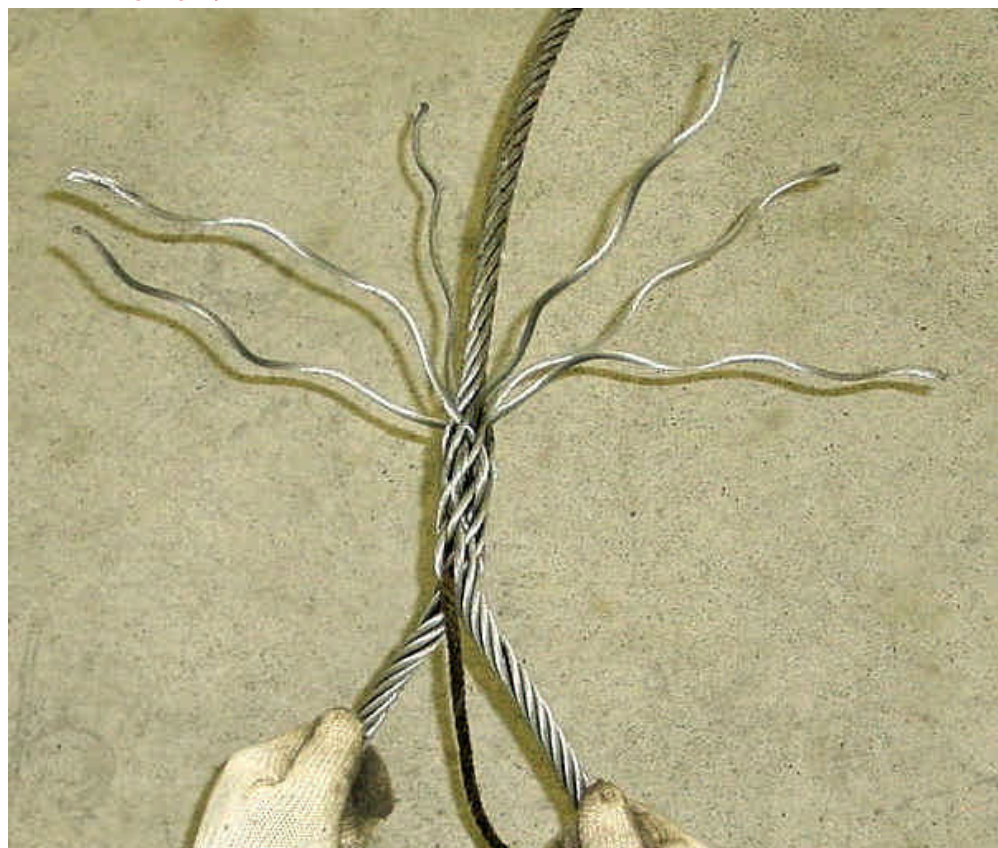
4本目の手前（下）の位置に図のようにシノを差し、次（左隣）のストランドを差す。

26 5本目終了



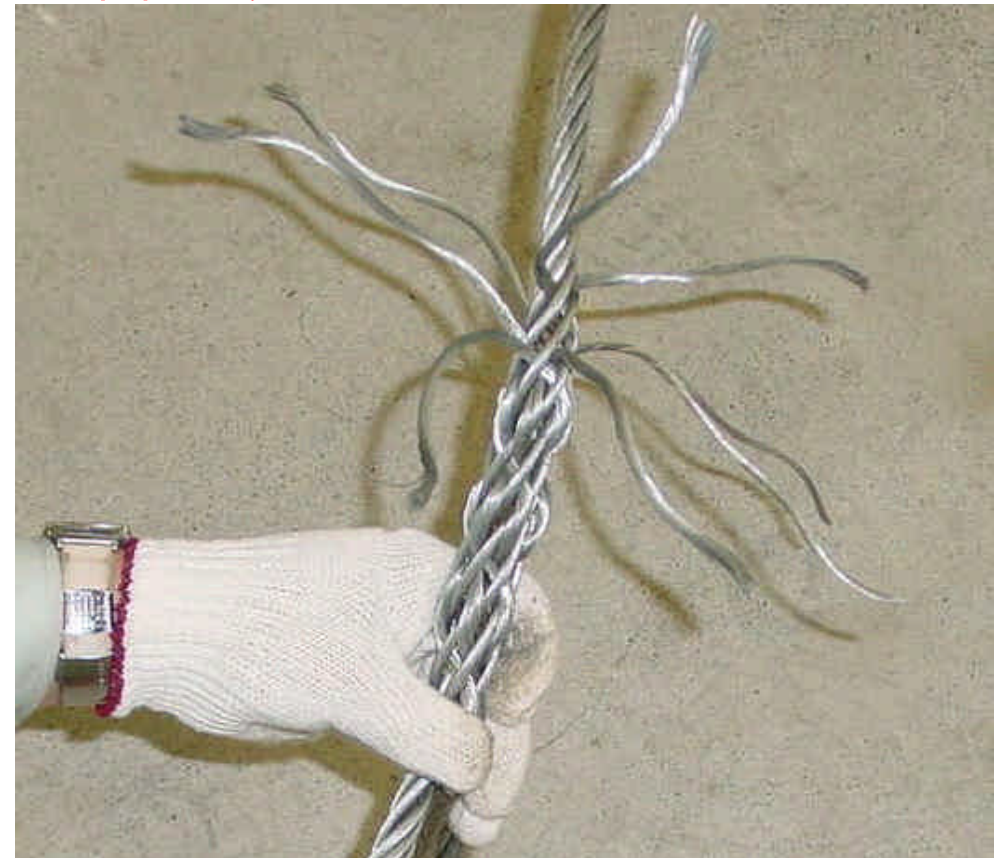
差した位置とストランドの状態を確認し、必要に応じてよりを入れる。

27 2回目完了



6本のストランドを全部2周差した状態。  
 ストランドの根本を観察し、同じところから2本出ているか確認、修正する。  
 差したストランドの根本がほぐれているものは、ねじってよりを入れると良い。  
 細工した部分がふくらみやすいので、その都度各ストランドを引き締める。  
 手前（下方）に引くと後が差し難くなるので、前方（斜め上方）に向かって引っ張ること。  
 又はハンマーで叩いて整形する。

28 4回目まで完了



作業工程17～27をあと2回繰り返して、全部のストランドを4回ずつ差す。1周差すごとに細工の状態を確認し、整形を繰り返す。  
 ストランドがほぐれて素線がばらけたら、すぐにまとめておくこと。ストランドの先端が地面に接触しないように浮かせて作業するのがポイント。  
 後になるほど、ワイヤー本体が締まって細工が難しくなり、シノを差す手に力が入るので、シノの先端で手を怪我しないように注意すること。

### 29 半差し(5回目)の最初



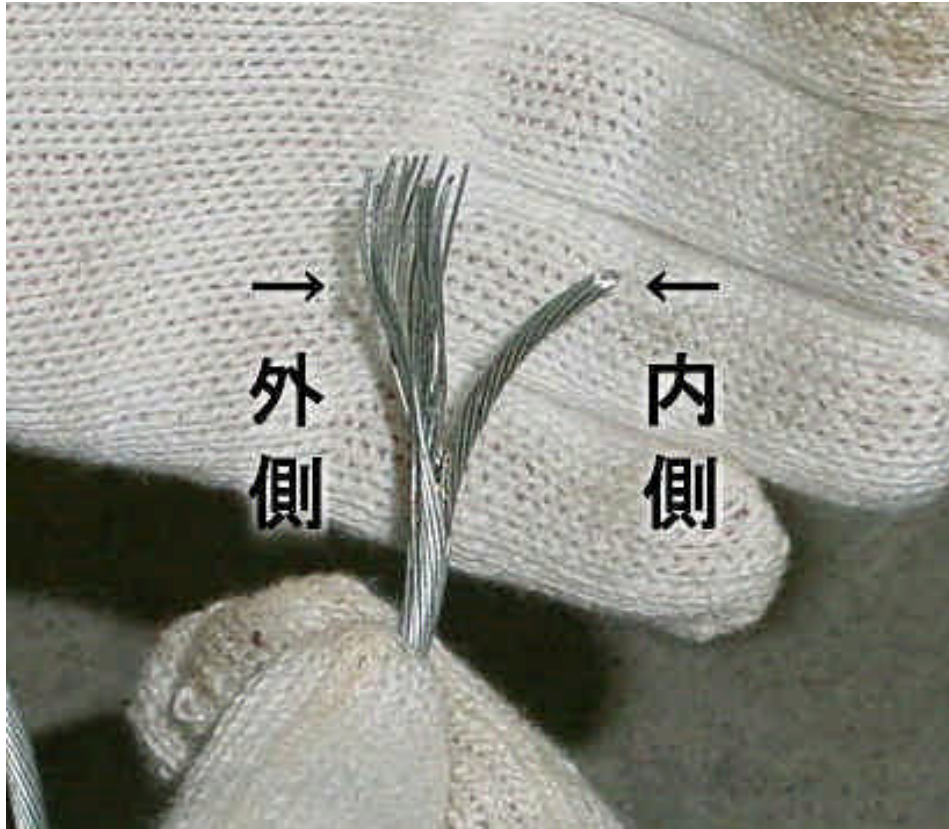
半差しはどこから始めても良いが、上図では親指で押さえているのが、1本目になる。  
その根本から左へ向かって1越し2差しでシノを差す。

### 30 ストランドをほぐす



1本目に差すストランドを図のように右手で持ち、左手で先端を軽く摘んで左(よりと逆)にねじる。

### 31 ストランドの分割



ほぐしたストランドを内と外に分割する。  
内側と外側を根本まで完全に分割する。  
分割に失敗したら、よりを戻してやり直す。

### 32 外側を差す



外側だけをシノの溝に通す。

### 33 半差しの1本目終了



2本目(1本目の左隣)を図のように1越し2差し。  
内側はそのまま残し、差した外側を強く引き締める。

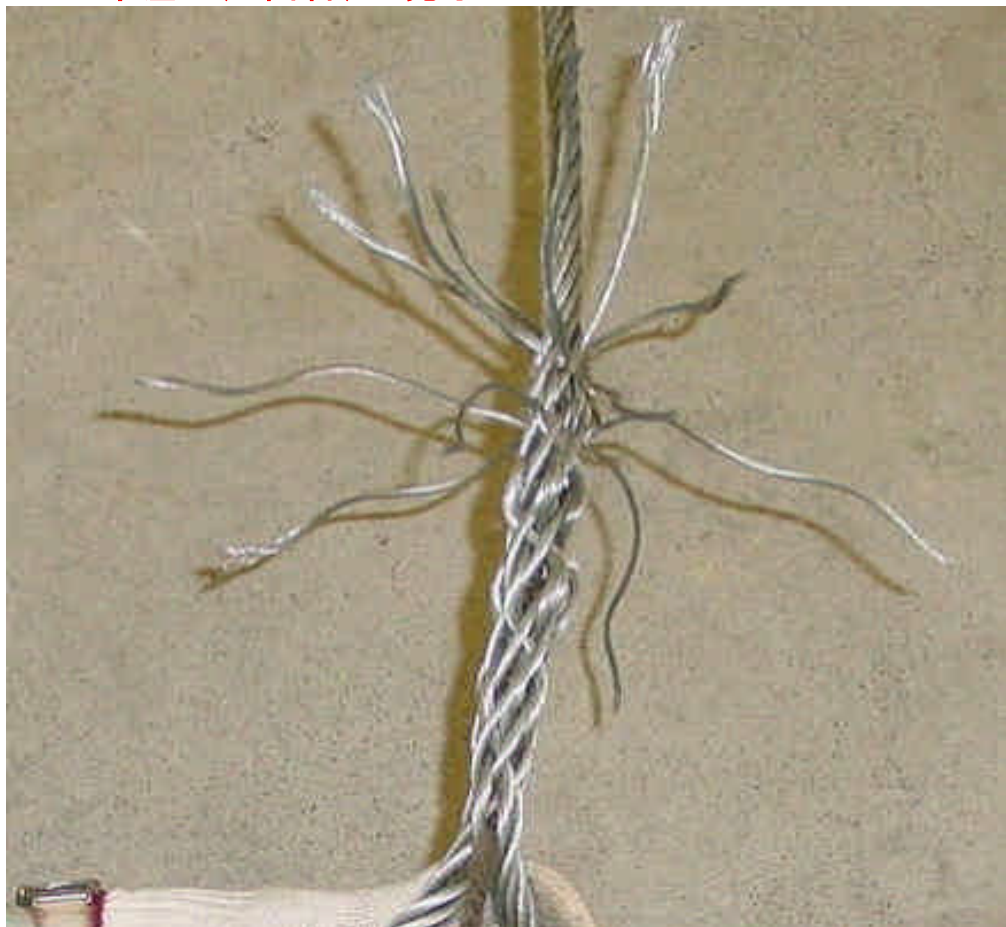
### 34 2本目の差し位置



以下6本目まで同様の作業。



### 35 半差し(5回目)の完了



1 2本のストランドを、1本ずつ強く引いて締める。

### 36 ハンマーで整形



図のように構えて先から手元に向かって叩いて締めながら整形する。

### 37 ストランドの切除



差したストランドの遊びが無くなるまで締めたら、根本から切り取る。

### 38 ストランド先端の整形



切り残ったストランドの先端を再びハンマーで叩いてロープ本体に添わせる。

### 39 完成



ここでは、本差し4回と半差し1回だが、本差し3回と半差し2回でも良い。(合計5回以上になること。)